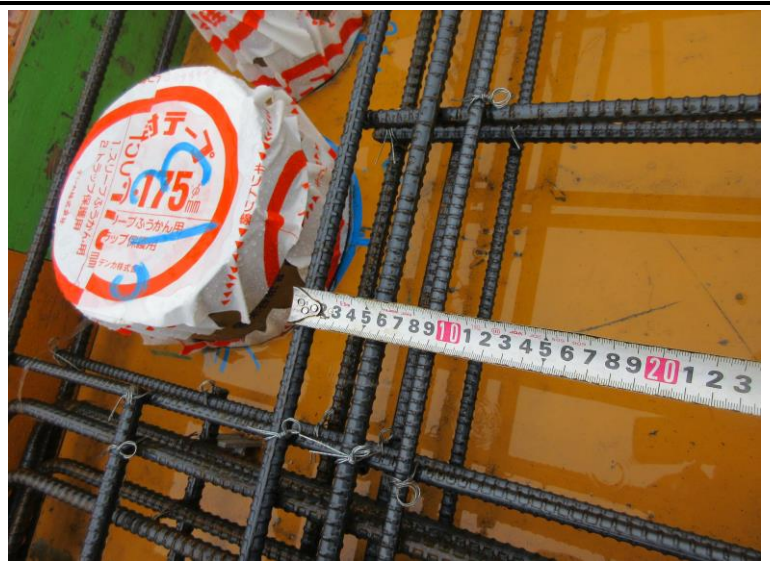
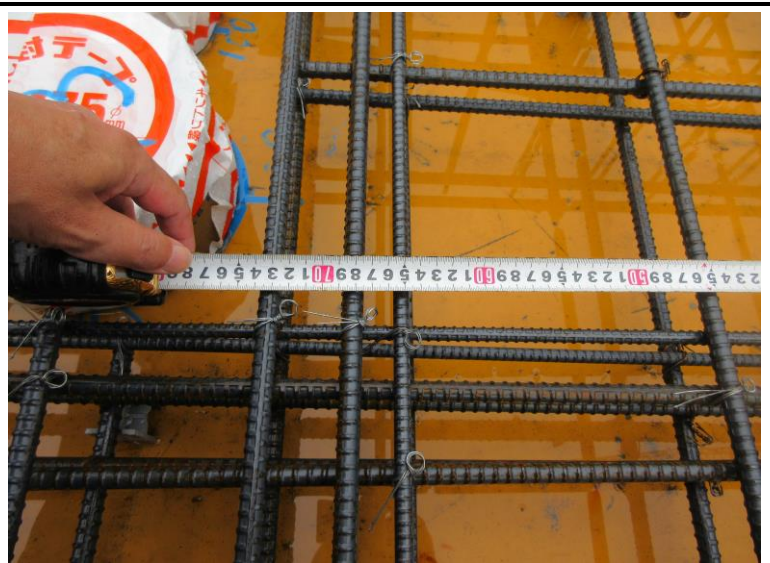


現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	91
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
床面スリーブ貫通部廻りには、計画 (施工図) 通りに補強筋が設置されていることを確認。	

令和5年6月2日	
NO	92
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。補強筋の定着長さ (L1 : D13×40 = 520mm) が確保されていることを確認。	

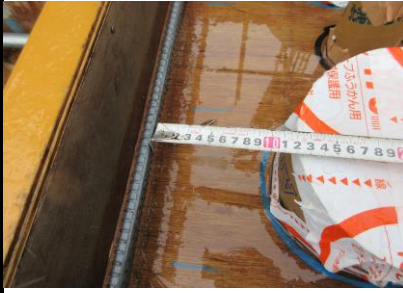
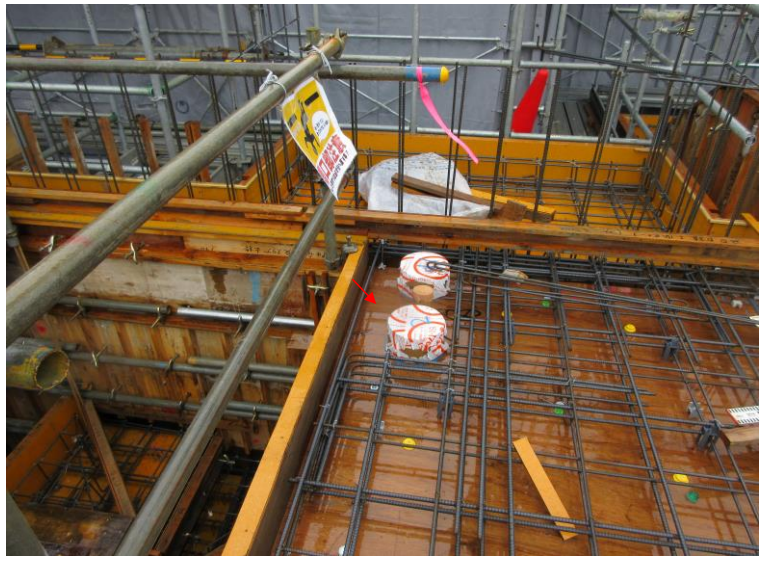



令和5年6月2日	
NO	93
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
スリーブ部廻りには、鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。	

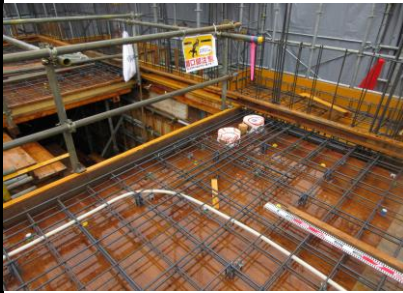



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	94
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
床面スリーブ貫通部廻りに補強筋の設置不足箇所があることを指摘。	

令和5年6月2日	
NO	95
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	


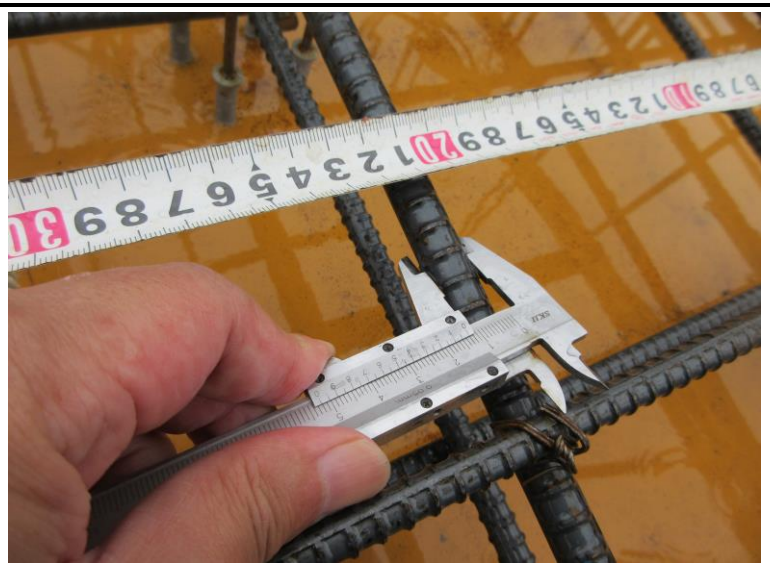



令和5年6月2日	
NO	96
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	

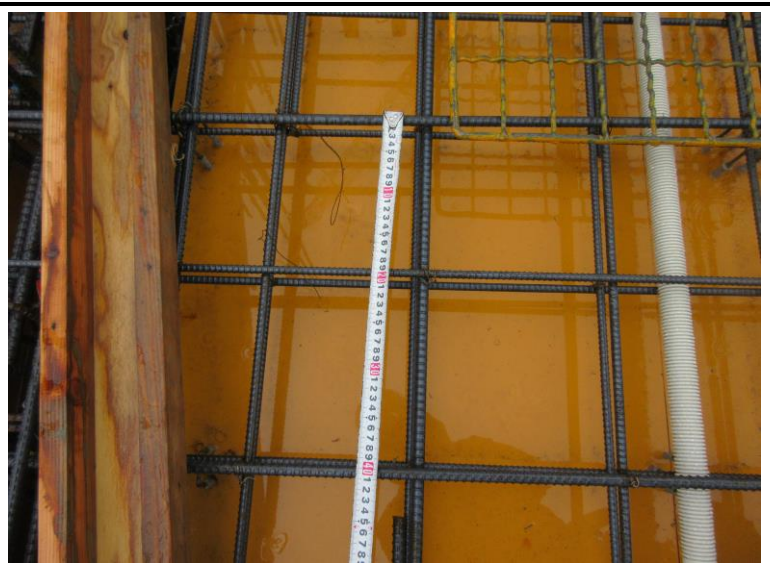



現況検査により認められる状況の記録

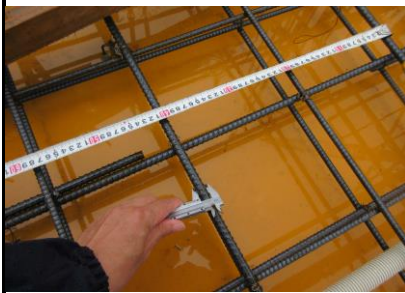
令和5年6月2日	
NO	97
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (S3)
同上。	

令和5年6月2日	
NO	98
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (S3)
同上。	

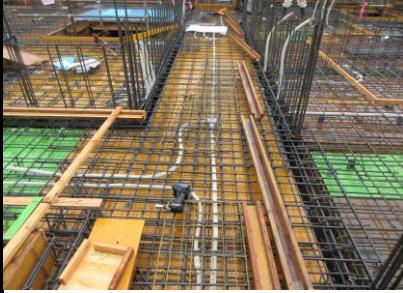
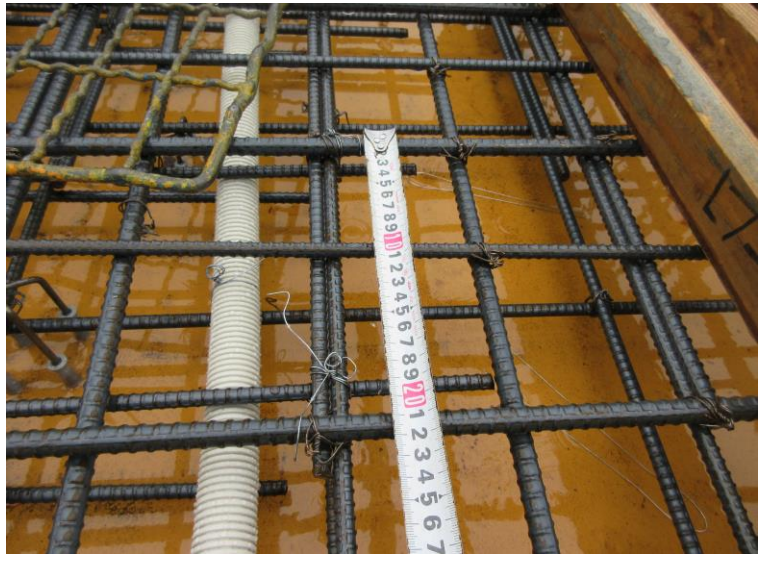



令和5年6月2日	
NO	99
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (S3)
同上。	


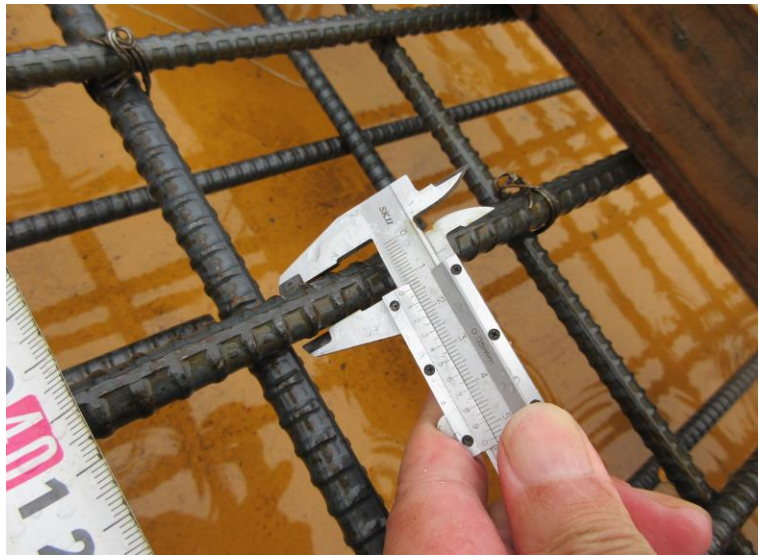



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	100
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (CS 2 A)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@100mmチドリ (縦横共)	

令和5年6月2日	
NO	101
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (CS 2 A)
同上。	

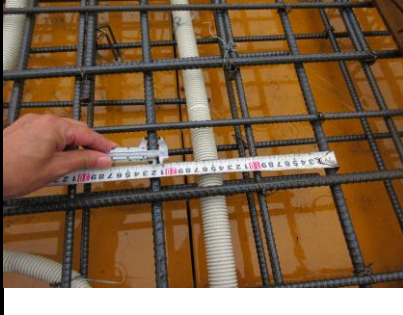
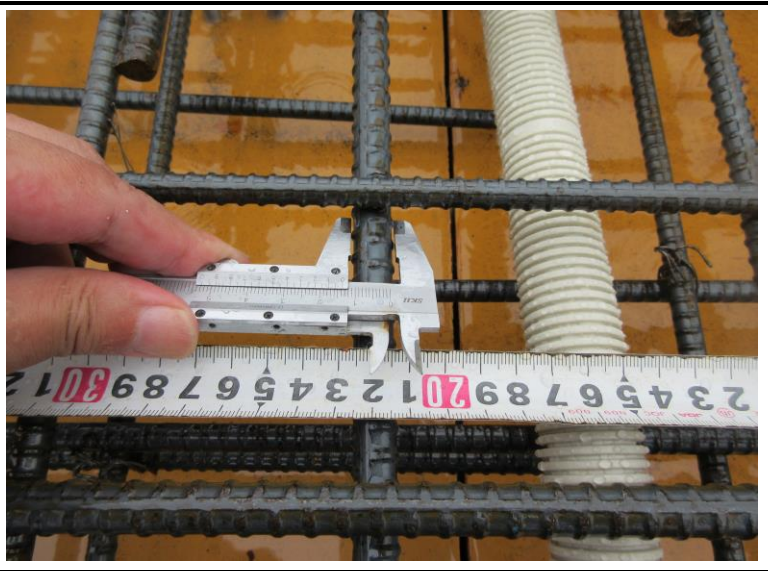



令和5年6月2日	
NO	102
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (CS 2 A)
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

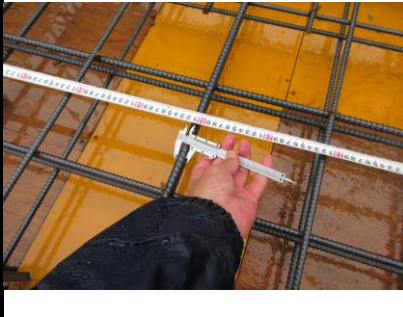
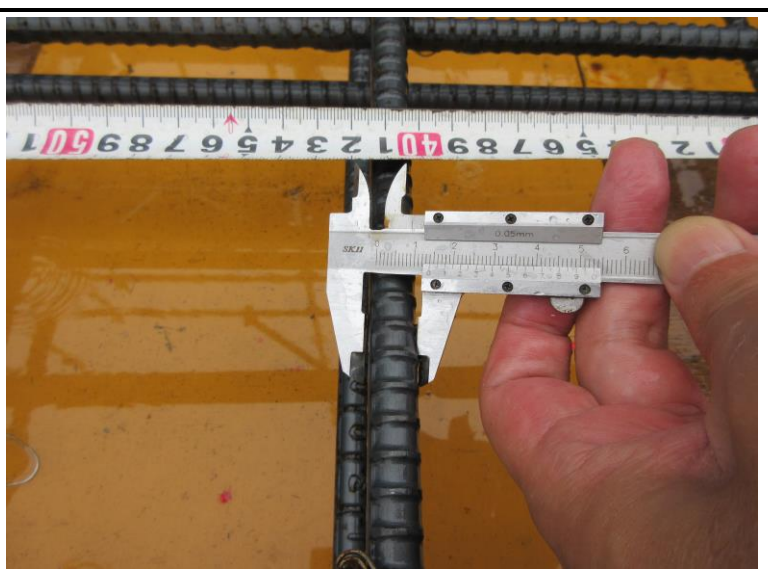
令和5年6月2日	
NO	103
場所	CD棟 (D棟)
部位	外部廊下 (CS 2 A)
同上。	

令和5年6月2日	
NO	104
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S 4)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。D10・D13@200mmチドリ (上下・縦横共)	

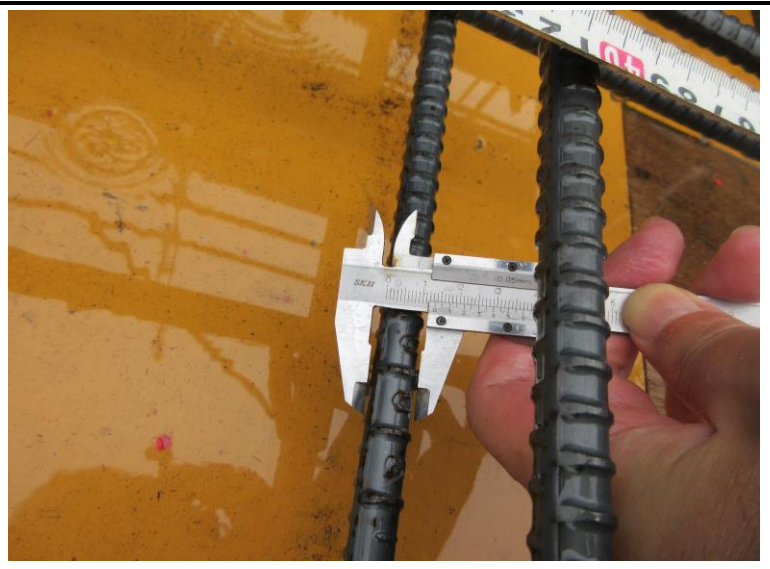



令和5年6月2日	
NO	105
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S 4)
同上。	

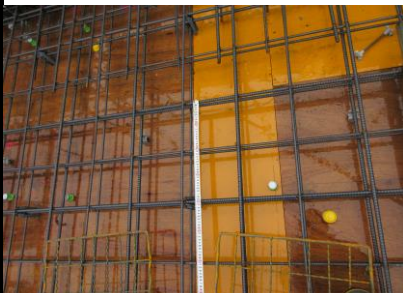
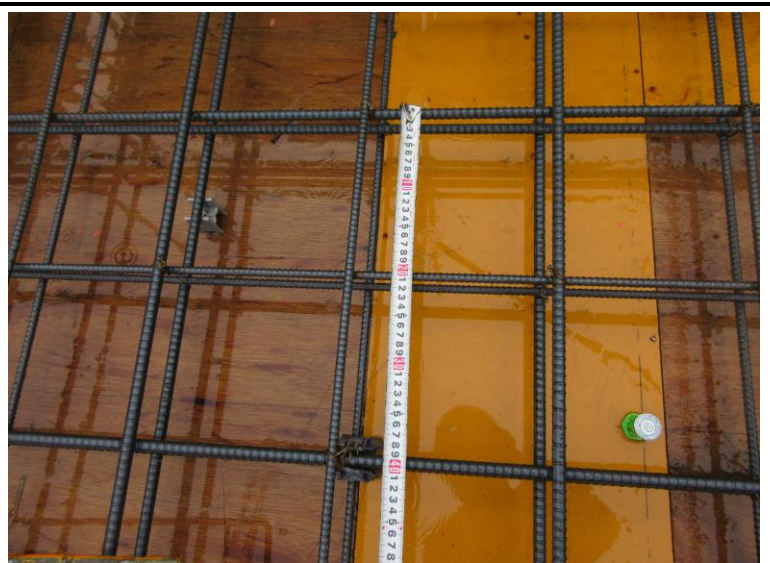



現況検査により認められる状況の記録


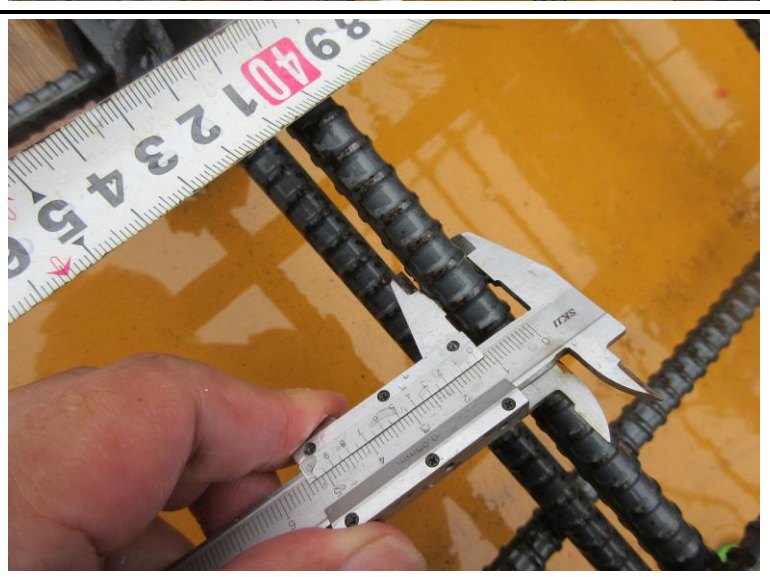
令和5年6月2日	
NO	106
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

令和5年6月2日	
NO	107
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

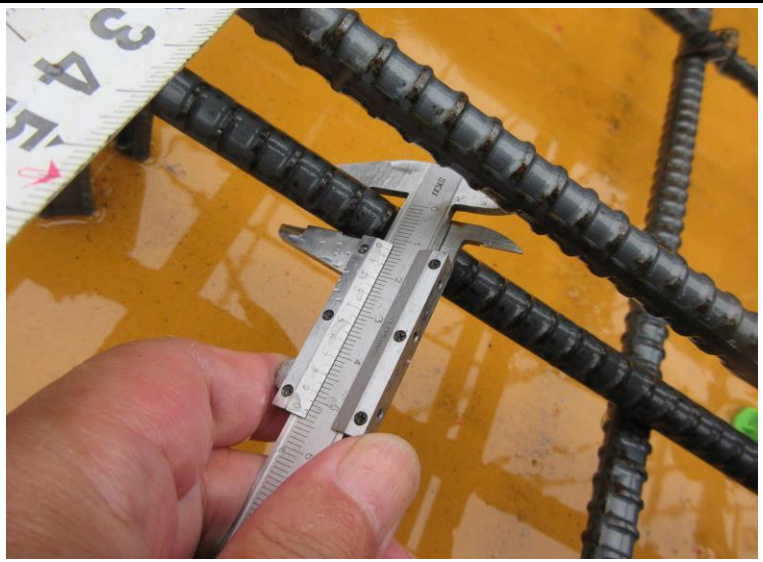



令和5年6月2日	
NO	108
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

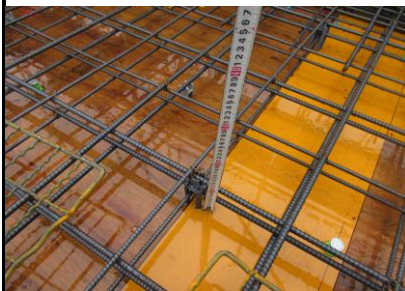



現況検査により認められる状況の記録

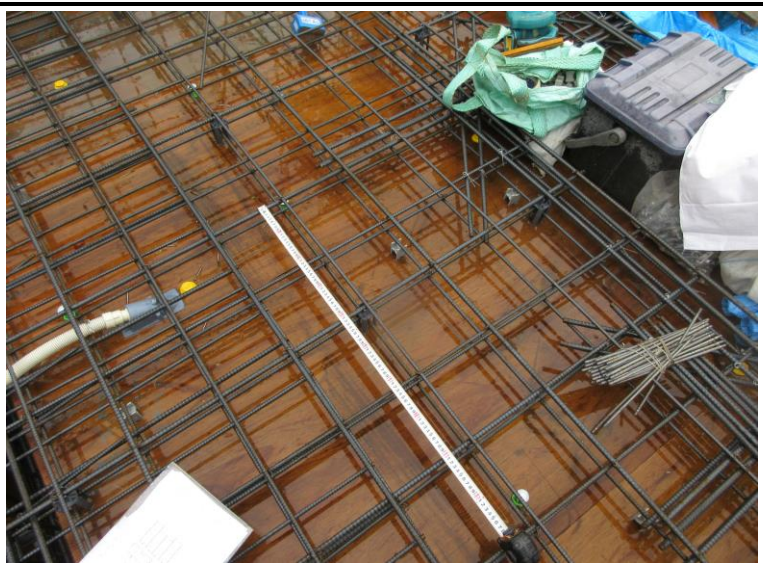
令和5年6月2日	
NO	109
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

令和5年6月2日	
NO	110
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	

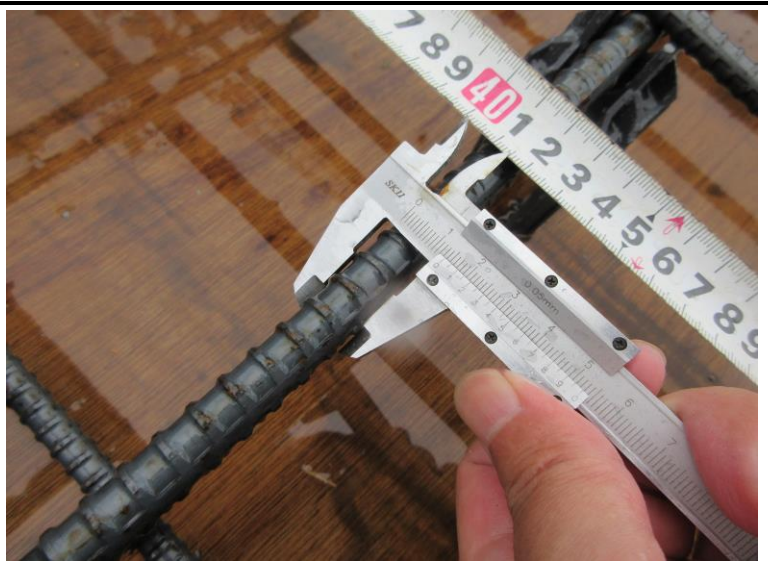



令和5年6月2日	
NO	111
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	

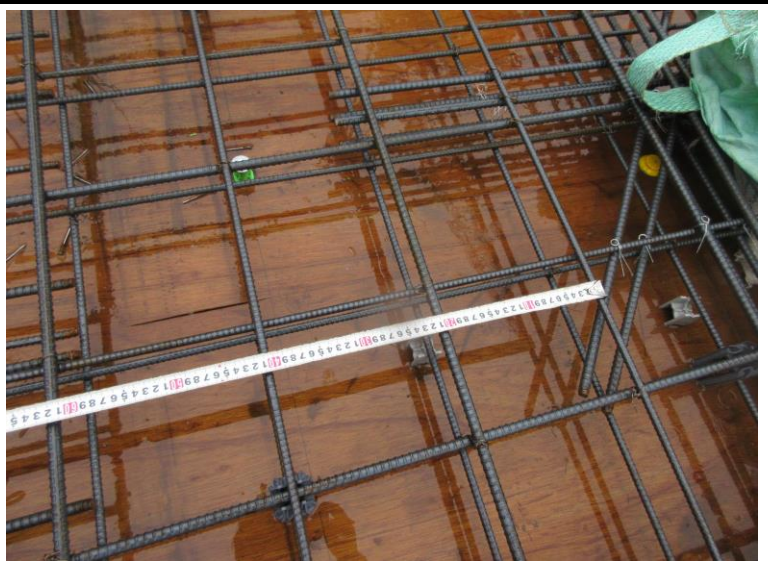
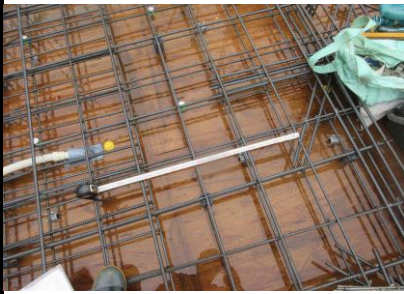



現況検査により認められる状況の記録

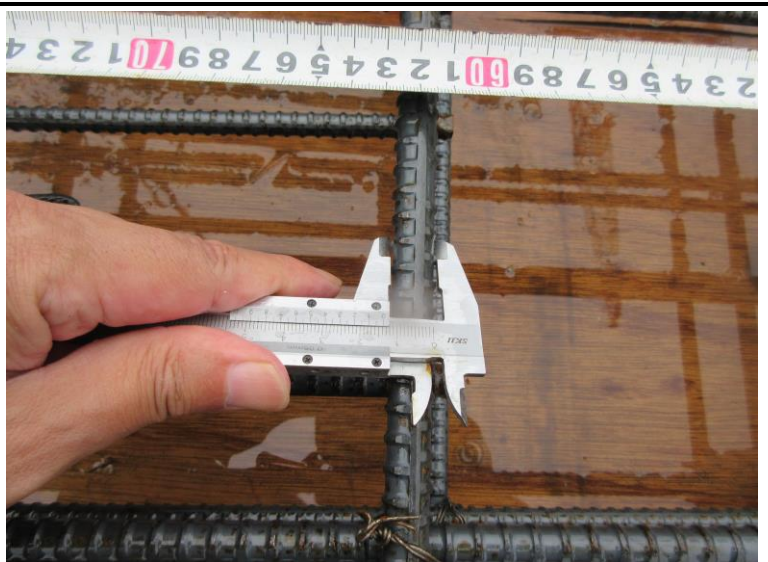
令和5年6月2日	
NO	112
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	



令和5年6月2日	
NO	113
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	



令和5年6月2日	
NO	114
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	115
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S3)
梁上部の直線定着長さ (L2 : D13×35=455mm以上) が十分に確保されていることを確認。	




令和5年6月2日	
NO	116
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
階段廻りのS4スラブ端部部分に、鉄筋かぶり厚きの不足箇所があることを指摘。	




令和5年6月2日	
NO	117
場所	CD棟 (D棟)
部位	床スラブ (S4)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

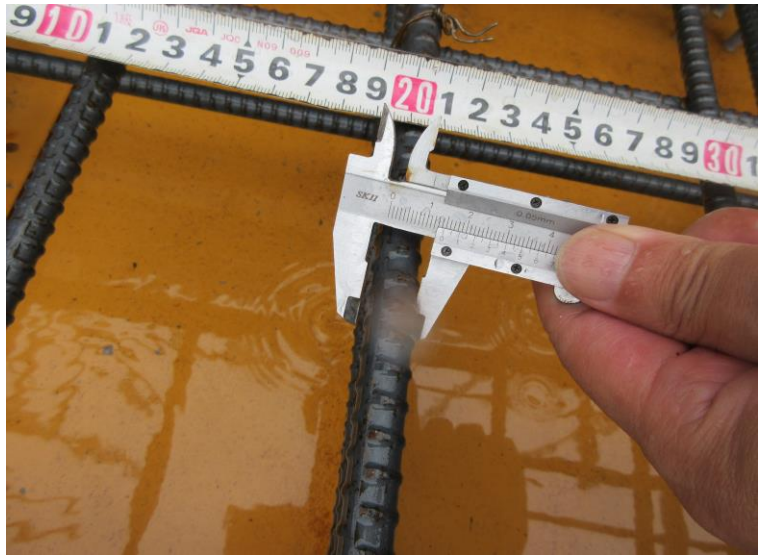



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	118
場所	CD棟
部位	キャンティスラブ (CS3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋：短辺方向) D10・D13@100mmチドリ	



令和5年6月2日	
NO	119
場所	CD棟
部位	キャンティスラブ (CS3)
同上。	



令和5年6月2日	
NO	120
場所	CD棟
部位	キャンティスラブ (CS3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (配力筋：長辺方向) D10・D13@200mmチドリ	

